



令和 2 年 1 月 9 日  
独立行政法人 国立科学博物館

### YS-11 量産初号機一般公開を目指し移設へ ～羽田で眠る我が国の機械遺産 YS-11 茨城県筑西市で一般公開～

国立科学博物館（館長 林良博）が現在羽田空港内で保管する、我が国唯一の純国産民間輸送機 YS-11 を茨城県筑西市に移転し、組立後に一般公開します。

移設に向けて羽田空港内で現在行っている YS-11 の解体作業を報道向けに限定公開します。



## 概要

- 【1】 左主翼取り外し作業  
日時:1月15日(水)10時から  
場所:羽田空港格納庫内(最寄り駅:モノレール整備場駅※別添地図参照)
- 【2】 最後のパイロットなど YS-11 関係者による羽田空港における YS-11 との最後のお別れ会  
日時:3月9日(月)10時から  
場所:羽田空港格納庫内(最寄り駅:モノレール整備場駅※別添地図参照)

なお、現役飛行中の当機体映像や最後のモータリング、今までの解体作業の様子など記事掲載において必要な動画・静止画をご希望の方は以下問い合わせ先メールに御連絡ください。

#### 【本件問い合わせ先】

独立行政法人国立科学博物館

広報・運営戦略課長 吉野千津

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20

Tel:03-5814-9170 Fax:03-5814-9899

E-Mail:[shuzai@kahaku.go.jp](mailto:shuzai@kahaku.go.jp)

# YS-11 量産初号機について

## 1 保存に至る経緯

平成 11(1999)年 1 月に退役する YS-11 量産初号機の保存のため、当時の運輸、文部、通産、大蔵等関係省庁で協議され、国立科学博物館において維持管理が望ましいとの合意がなされた。

国立科学博物館は、平成 11 年 2 月 26 日付で運輸省航空局長宛に YS-11 量産初号機の取得要望書を提出。同年 8 月に運輸省から管理換を受けた。

## 2 保存目的

当館が保管する YS-11 は、我が国航空機製造事業の期待を一身に受けた量産初号機(製造番号 2003)である。機体登録番号は JA8610 と、YS-11 全機中一番若い番号を与えられている(試作機 2 機の製造番号はそれぞれ 2001, 2002, 機体登録番号は JA8611, JA8612 であった)。

昭和 40 年 3 月に運輸省航空局に納入され、「ちよだⅡ」と命名されて、羽田空港をベースに、飛行検査機として 2 万時間を越える飛行実績を有する。

我が国唯一の純国産開発の民間輸送機であり、国家支援のもと性能・経済性等世界的評価を得て、世界で活躍した YS-11 であり、特に

- ① 我が国航空関係者の「汗と涙」が結晶され、わが国航空機製造事業の期待を一身に受けた栄えある量産初号機
- ② 現存する YS-11 の中で試作機を除く最古の機体
- ③ 我が国の飛行安全確認の点検機として任務を全うした航空機である。

また、平成 19 年には「機械遺産」(日本機械学会)に認定され、さらに、平成 20 年にも「重要航空遺産」(日本航空協会)として認定されている。

※機械遺産……日本機械学会が審査、認定する日本の機械技術発展に寄与したもの。日本機械学会は 2007 年 6 月に創立 110 周年を迎え、その記念事業の一環として、歴史に残る機械技術関連遺産を大切に保存し、文化的遺産として次世代に伝えることを目的に、日本国内の機械技術面で歴史的意義のある「機械遺産」(Mechanical Engineering Heritage)を認定することにした。2007 年から始まり、現在まで 76 件が登録されている。

※重要航空遺産…日本航空協会が、歴史的文化的に価値の高い航空遺産を「重要航空遺産」として認定し、その意義を広く社会に知らしめるとともに、後世に遺していくため「重要航空遺産認定制度」を平成 19 年に設立した。平成 20 年に、国立科学博物館が所有する「YS-11 輸送機量産初号機」および埼玉県が所有する「九一式戦闘機」を初の「重要航空遺産」として認定し、現在まで 8 件が登録されている。

このように YS-11 量産初号機は、我が国戦後復興の象徴であり、将来に継承していくべき国民の貴重な財産である。航空機史上重要な価値を持つ YS-11 の中でも記念碑的価値の高い機体であり、我が国の貴重な産業技術資料としての価値を減じないよう、風雨の影響等を避けるための屋内保管や継続的な定期点検の実施など計画的な保存に努め、劣化や損傷、不可逆的な改変を防ぎ、できうる限り移管時の状態に近い形で保存する。

## 3 保管場所、保管状況

平成 11 年 8 月運輸省から管理換されて以降、当館では YS-11 量産初号機の良い保存に努めるため、風雨を防ぐことができ、また定期的なメンテナンスを行うことが容易である羽田空港内の格納庫で保存を行ってきた。

平成 11 年 6 月 運輸省、文部省、科博、JAL で保管に関する覚書締結

平成 24 年 3 月 国土交通省 T-101 格納庫へ移転

平成 28 年 8 月 空港施設(株)大型格納庫(羽田空港)へ移転

令和 2 年 3 月 ザ・ヒロサワシティ(茨城県筑西市)へ移転予定

組立後 ザ・ヒロサワシティにて一般公開

# 【「YS-11 解体作業」報道向け公開 参加申込書】

送付先

FAX: 03-5814-9899

E-mail: shuzai@kahaku.go.jp

誠にお手数ですが、羽田空港格納庫内入場登録の都合上、**1月14日(火)中**に返信用紙に必要事項御記入の上、FAX またはメールにてお知らせください。

① 左主翼取り外し作業

日時: 1月15日(水)10時から

場所: 羽田空港格納庫内(最寄り駅:モノレール整備場駅 ※別添地図参照)

② 最後のパイロットなどYS-11 関係者による羽田空港におけるYS-11 との最後のお別れ会

日時: 3月9日(月)10時から

場所: 羽田空港格納庫内(最寄り駅:モノレール整備場駅 ※別添地図参照)

※車でのご来館はご遠慮下さい。

① 左主翼取り外し作業 1月15日(水)10時～	<input type="checkbox"/> 参加 (スチール / ムービー / 撮影なし)	<input type="checkbox"/> 不参加
② 最後のお別れ会 3月9日(月)10時～	<input type="checkbox"/> 参加 (スチール / ムービー / 撮影なし)	<input type="checkbox"/> 不参加
貴社名		
部署名		
貴紙/誌名		
お名前(合計名)		
御連絡先	TEL	
	FAX	
	E-mail	
掲載予定日	月 日( 号)掲載/アップ予定	
連絡欄 ※インタビューや取材の御希望がありましたら御記入ください。		

※御送付いただいた個人情報は、YS-11 一般公開に向けてのPR活動以外の目的で使用することはありません。

# YS-11解体作業場所 羽田空港格納庫(最寄り駅:モノレール整備場駅)



# YS-11量産初号機の解体経過 (2019. 8～2019. 12)

国立科学博物館が羽田空港内で保管しているYS-11 (JA8610) は、2020年3月末に茨城県筑西市のザ・ヒロサワ・シティーに移転、組立後に展示公開することが決まりました。

2019年8月29日、羽田空港内のYS-11保管ハンガーにおいて最後のモータリングが行われ、9月30日から移転に向けた解体作業を開始しました。またYS-11解体にあたっては、専用の解体器具・機材が必要ですが、国内でYS-11を唯一運用する防衛省航空自衛隊の協力により借用することができ、解体はその後順調に進み、2019年12月20日に未解体の胴体と主翼を残し、解体したエンジン、プロペラ、尾翼他のパーツ類はザ・ヒロサワ・シティーに搬入、一時保管庫に収納されました。2020年1月には主翼と胴体を解体し、3月には解体した全てのYS-11パーツをザ・ヒロサワ・シティーに搬入予定です。



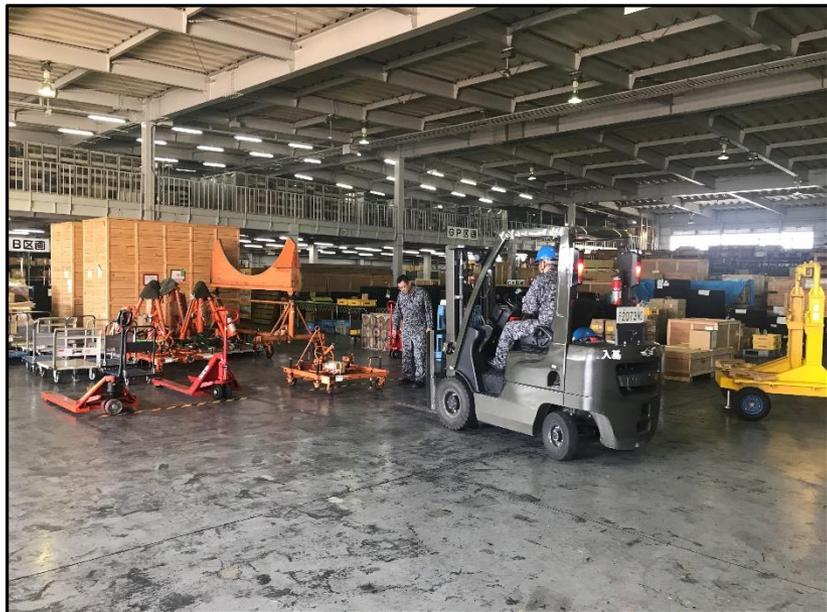
## 2019年8月からのYS-11機の状況経過（8月29日～12月20日まで）



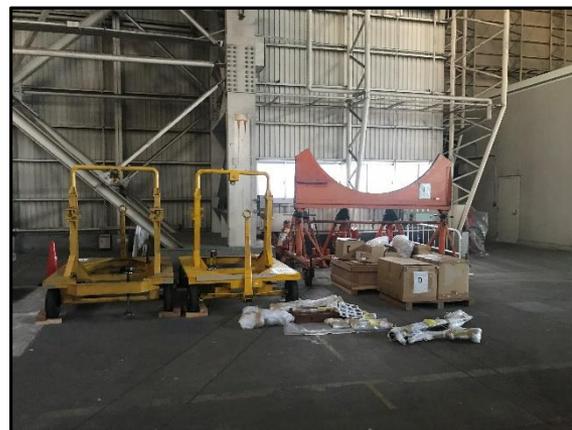
最後のモータリング（2019年8月29日）



航空自衛隊美保基地から入間基地へYS-11解体用機材を輸送（2019年10月15日）



航空自衛隊入間基地にて機材運び出し作業 (2019年10月30日AM)



航空自衛隊入間基地から羽田空港に  
機材搬入 (2019年10月30日PM)



# 解体作業経過 (10月3日～11月4日まで)



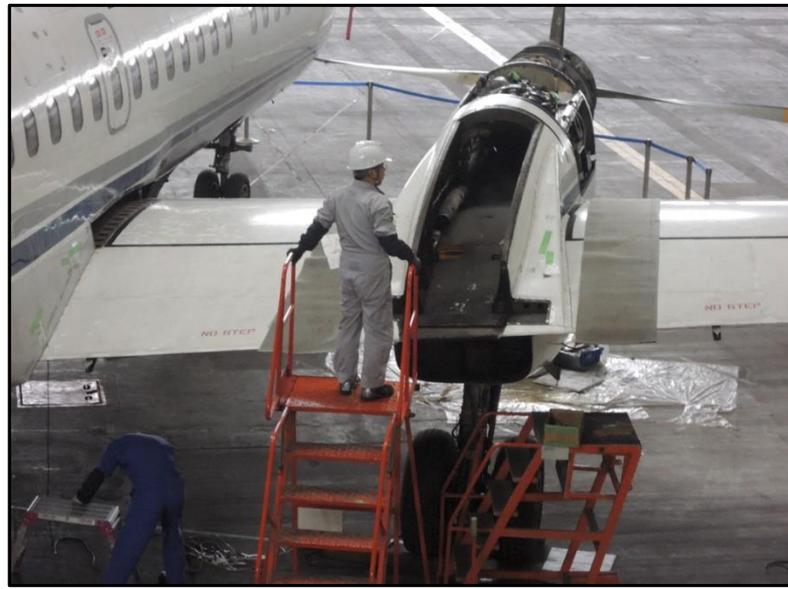
エンジンカバー取り外し (2019年10月3日)



右外側フラップの取り外し (2019年10月4日)



2019-10-09-エルロンが取外された右主翼



2019-10-18-ジェットパイプの外れた右エンジンナセル



2019-10-21-エンジンナセルフェアリングの取外し終了



2019-10-24-前縁取外しが終了した右主翼



2019-10-28-翼胴分離のため電装ハーネスの取外し



2019-11-01-主翼後縁取外しの為に外板を外したエンジンナセル後方下部



取り外したパーツ類 (2019年11月5日)



取り外したエグゾースト他 (2019年11月5日)



2019-11-05~08 解体パーツ第一次搬出 (羽田(左)からザ・ヒロサワ・シティー(右)へ)





2019-11-11 YSの本体解体場所まで移動1



2019-11-11 YSの本体解体場所まで移動2



2019-11-11 自衛隊からの借用品による機体のジャッキアップ



2019-11-14-胴体受台設置後ジャッキダウン



2019-11-14-プロペラ取外し



2019-11-14-エンジン取外し



2019-11-14-脚・プロペラ・エンジンを外したYS-11



2019-11-18-尾翼取り外し用足場組立



2019-11-19-テールコーン解体



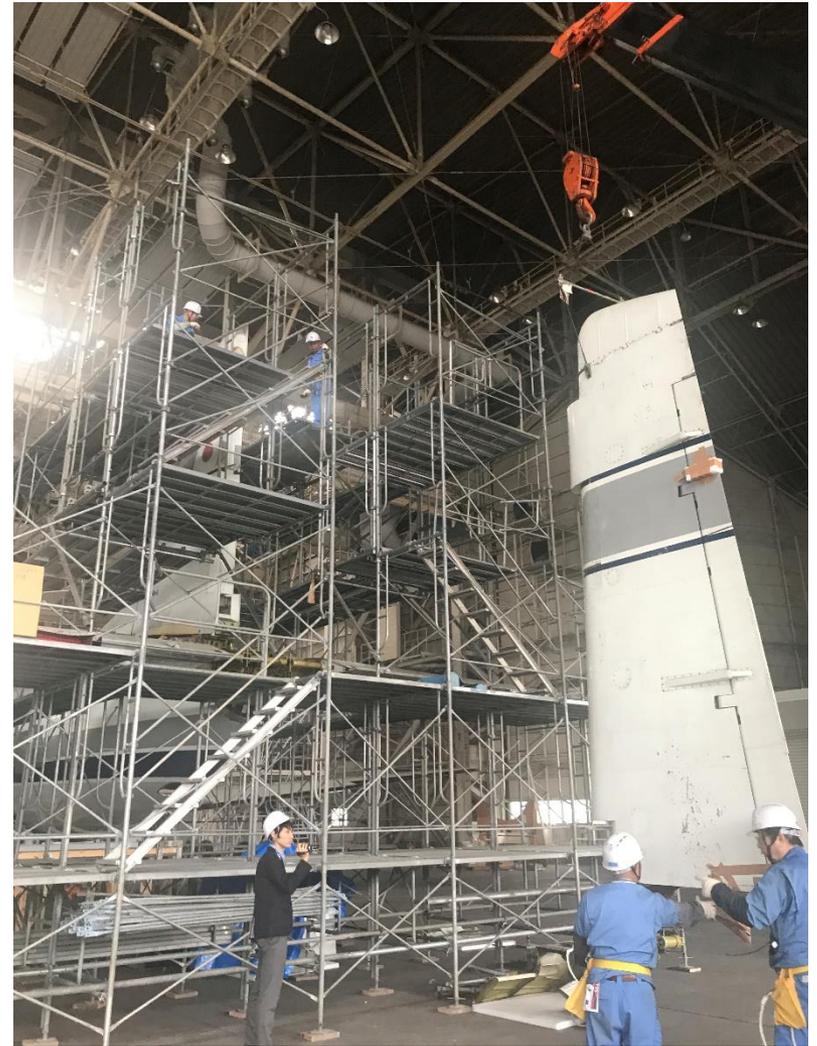
2019-11-19-垂直尾翼取り外し作業



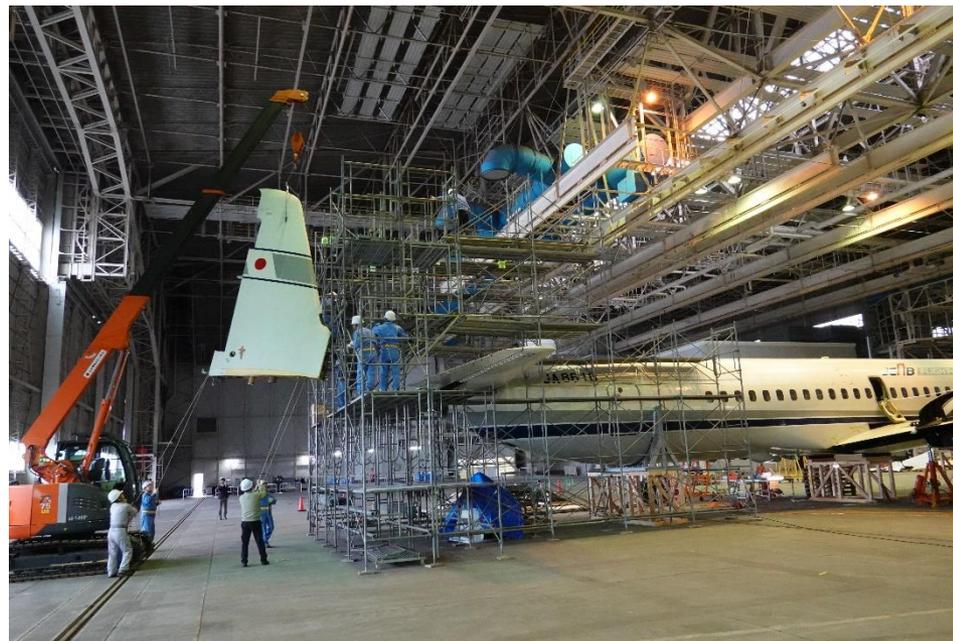
2019-11-21-アンテナ柱取外し作業



2019-11-25-ドーサルフィン解体



2019-11-25-垂直尾翼ラダー解体



2019-11-26-垂直尾翼解体



2019-11-27-ザ・ヒロサワ・シティー建物地鎮祭



2019-11-28-水平尾翼解体



2019-11-28-尾翼を解体した胴体後部



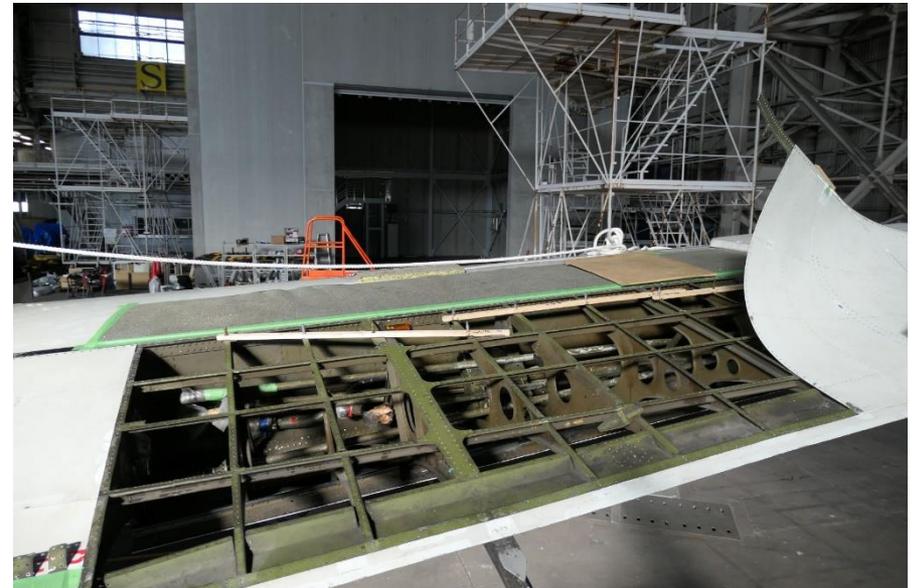
2019-11-28-尾翼を外したYS-11全景



2019-12-05-主翼・胴体解体準備



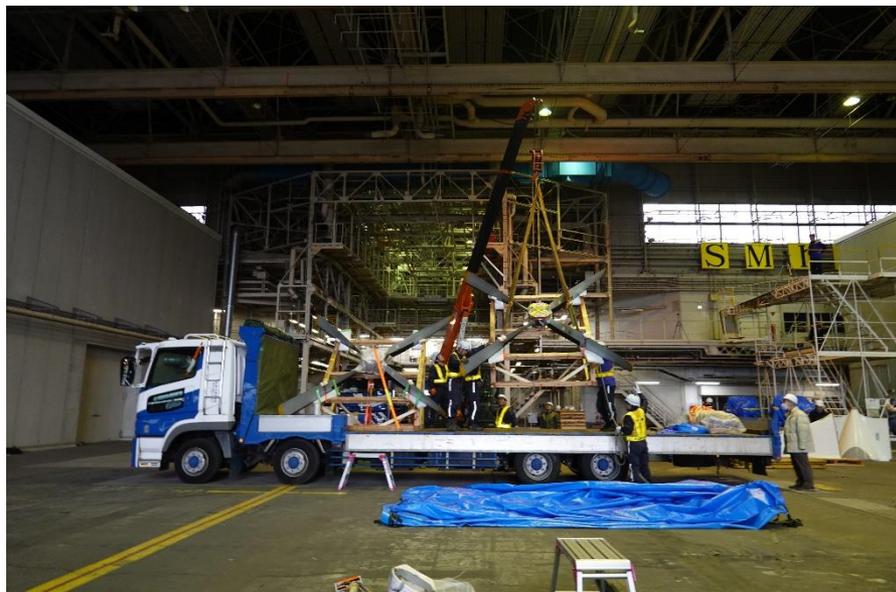
2012-12-10-右主翼後縁の取外し作業



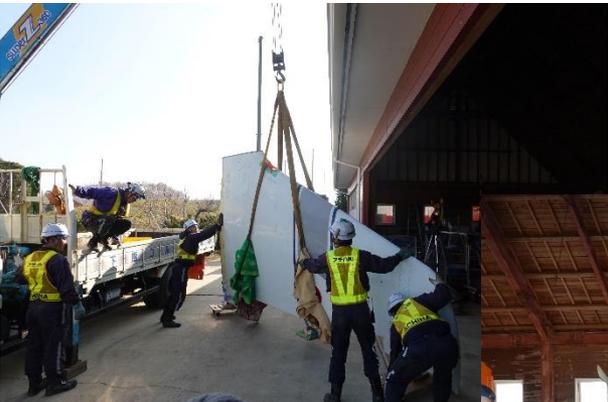
2012-12-12-右主翼リブを木とクリコを使って仮止め 13



2019-12-19-解体パーツ第2次搬出 尾翼積込（羽田）



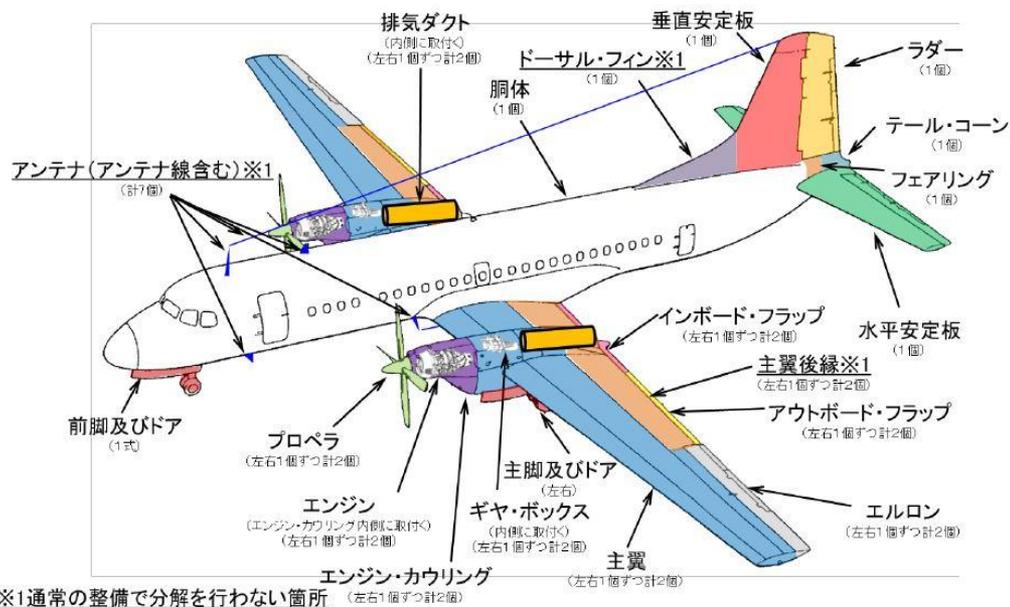
2019-12-19-解体パーツ第2次搬出プロペラ積込（羽田）



2019-12-20 解体パーツ第2次搬入（ザ・ヒロサワ・シティー）



2019-12-20 建物基礎工事状況



※1通常の整備で分解を行わない箇所 (左右1個ずつ計2個)

## 2019-12-16-胴体と主翼のみになったYS-11機

左図にある分解パーツで、主翼と胴体以外のほぼ全てを解体し終えた。

図1 分解範囲